

NCNP 病院にて ブレインバンクに登録された方へ

このたび、NCNP 臨床検査部においてブレインバンクに登録された方の検体、および診療情報等の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し検体や診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、対象となる方の検体や診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2009 年 4 月より 2025 年 12 月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNP ブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関してご遺族が同意された方の中から、死後の病理学的解析により ALS (筋萎縮性側索硬化症) と診断された方および顕著な神経疾患なしと診断された方。

2. 研究の期間

研究実施許可受領後 ~ 2031 年 3 月 31 日

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)の病態に関連する分子メカニズムの解明と効果的薬剤標的を同定するための臨床研究

研究代表者: 慶応義塾大学医学部神経内科 講師 西本祥仁

研究責任者: 国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部 部長 高尾昌樹

(共同研究機関)

東京大学大学院 工学系研究科

研究責任者: 鈴木 勉

東北大学加齢医学研究所

研究責任者: 魏 范研

理化学研究所生命医科学研究センター

研究責任者: 石垣 和慶

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料: 脳、脊髄の凍結組織

(取得方法) 剖検時にご遺族の同意のもとに取得

情報等; 性別、死亡時年齢、死後時間、RIN、脳重、罹病期間、臨床診断、内服薬の履歴、検査結果、病理診断、遺伝子診断、検体の部位、病理解析結果

(取得方法) 診療録から入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

ALSに罹患されたヒトの血液・脳脊髄液・尿・唾液・死後脳脊髄組織を用いて、臨床病期の進行に応じた各種タンパク質・RNA変化を、qPCR、マイクロアレイ、オミックス解析などの手法を用いて、選択的あるいは網羅的に検索します。これにより、病態変化を反映する分子変化を同定し、ALSのバイオマーカーおよび効果的治療法の開発への足掛かりとします。本研究ではこの内の死後脳脊髄組織を用いた研究を対象とします。NCNPより提供した脳脊髄組織から、タンパク質・RNAを抽出し網羅的に解析いたします。

提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

6. 利用又は提供を開始する予定日

「研究開始日」を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

所属 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター NCNP ブレインバンク

氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711(代表)